

# ○平成 29 年度(公財)延岡総合文化センターの事業報告

## 1. 事業報告書

### (1) 概 況

平成 29 年度の延岡総合文化センターの年間入場者数は、139,274 人(前年度比 9,007 人減)、開館以来の総入場者数は、平成 30 年 3 月末現在で 6,844,114 人に達しています。

また、野口記念館の年間入場者数は、26,050 人(前年度比 8,296 人減)でした。2 施設の年間入場者合計で 165,324 人の入場者となりました。

各施設の稼働率は、延岡総合文化センターがホール 73%(大ホール 55%、小ホール 67%)、練習室 67%、展示室 71%、会議室関係 93%で、概ね高い利用率を保持しています。一方、野口記念館の稼働率は 31%となっています。

施設の利用料金収入は、延岡総合文化センターが 30,520,651 円(前年度比 2,181,464 円減)、野口記念館が 4,497,362 円(前年度比 332,815 円減)でした。全体では 35,018,013 円(前年度比 2,514,279 円減)となりました。現時点で考えられる減額の要因としては、練習室や会議室の利用減ならびに全館利用の催し及びプロモーターの興行利用の低下が大きなものとなっています。今後、入場者数の減少等の要因を更に分析し、そのことに対する対策を講じていく必要があります。

### (2) 施設の管理について

施設の管理については、施設全般にわたって専門業者による保守点検を定期的を実施するなど万全を期しておりますが、10 月中旬に電気系統の不具合により文化センター小ホールの緞帳が上がらないという事故が発生しました。何とか公演は開催できましたが、危うく補償問題にも発展する事故でした。当文化センターは建築後 30 数年が経過していますので、各種設備・機器の計画的な改修を検討していきたいと考えます。

今年度は、大・小ホールの吊物機構の更新工事や非常用発電機・蓄電池のメンテナンスなどを実施したほか、館内モニター増設や会議室 2 の空調機取替などの環境整備を行いました。

### (3) 自主文化事業について

招聘型公演 10 本、上映会 2 本、住民参加型公演 6 本の 18 事業を実施しました。招聘型の事業では、「キエフ・クラシックバレエ」や「劇団四季アンデルセン」、「夏井いつき句会ライブ」などを実施しました。また低料金の良質なクラシックコンサートシリーズ”音楽の散歩道”の 3 公演も好評でした。

住民参加型事業としては、ひむかオペラ歌劇「魔笛」が舞台セットや衣装など工夫を凝らした公演となり、出演者も地元の声楽家とオーケストラの演奏で、多くの市民が来場し成功を収めました。また市民の芸術活動を支援する”パフォーマ延岡”シリーズでは、子供たちのダンス公演を行い、アウトリーチ活動としては、ひむかオペラの会による学校訪問コンサートを北川中学校と北方学園小中学校で開催し、さらに地元演劇関係者の協力を得て方財小学校で演劇の鑑賞会を行いました。今後とも多くの市民が参加できる事業を企画していく計画です。

自主文化事業の全体的な決算としましては 1,775,885 円のマイナスとなりましたが、他の予算の流用で対処いたしました。

そのほか育成事業として、のべおか「第九」を歌う会などの 4 団体に助成し、当年度からは芸術文化の担い手育成の視点から、新たに県北出身音大生による「ジョイントコンサート」にも運営上様々な面で支援を行いました。今後とも、自主文化事業の企画・実施に当たっては、地域の文化団体などとの連携も図り、より質の高い公演等を提供できるよう取組んでまいりたいと思います。